



企画展示室

牧水の食

4/2～6/30

牧水短歌、散文等から「食」に関する作品を展示。時代ごとに変遷する食文化を味わう牧水を紹介。

牧水の花鳥風月

7/4～8/28

牧水の短歌から花、鳥、風、月を詠んだ歌を紹介。(平成29年度、30年度に開催した内容をもとに構成)

牧水記念館ができるまで —牧水記念館から受け継がれる牧水顕彰のこころ—

9/1～10/27

牧水の故郷に開館した若山牧水記念文学館。その前身である牧水記念館の建設資料等を紐解きながら、現在に受け継がれる牧水への思いを辿る。

三浦家寄贈資料公開展 繁と敏夫 受け継がれた二人の絆

11/1～12/28

牧水の友人 三浦敏夫が収蔵した牧水関連資料から、特に貴重な資料を紹介。
(令和3年度に開催した内容をもとに構成)

榎倉香邨遺作展3

令和7年
1/7～1/25

牧水短歌を書で表現することをライフワークとした故榎倉香邨氏を偲び、同氏から寄贈された牧水短歌の書を展示。

第29回 若山牧水賞

1/28～2/25

第29回若山牧水賞受賞者の紹介と共に、歴代受賞者の経歴と歌集、自選五首の直筆原稿等を展示。

文学ノート 拝見

3/1～3/30

牧水が旧制延岡中学時代に詠んだ短歌や短文などを記した文学ノートの現物を展示。歌人若山牧水の原点に触れられる全ページを、写真と共に紹介。
(令和4年度に開催した内容をもとに構成)

第74回 牧水祭

期日：9月17日(火) 会場：牧水生家周辺および牧水公園ふるさとの家

毎年、牧水の命日に行われる牧水祭は、全国から牧水ファンが故郷坪谷に集い、牧水の愛した酒を歌碑に注ぐ。また、講演会など様々な企画をとおして、牧水の遺徳を偲ぶ。
※どなたでも参加できます。



歌碑祭の様子



偲ぶ会の様子(講演)

第1展示室

牧水遺墨展示

4/2～6/30

収蔵する牧水遺墨から春、夏を詠んだ遺墨を展示。

牧水遺墨展示

7/4～9/29

収蔵する牧水遺墨から旅の遺墨を展示。

牧水遺墨展示

10/1～12/28

収蔵する牧水遺墨から秋、冬を詠んだ遺墨を展示。

牧水遺墨展示

令和7年
1/7～3/30

収蔵する牧水遺墨から本館初公開およびこれまで展示機会の少なかった遺墨を展示。

第2展示室

高森文夫直筆原稿展示

順次

第2詩集としてまとめられながら世に出なかった未刊直筆原稿集「嬌羞の歌」に収録されている詩51篇を1ヶ月ごとに順次展示。

ギャラリー

牧水と富士山水墨画展

4月～

卒寿記念に個展を開催した山田トシ子氏(宮崎市在住)から寄贈された水墨画を展示。

みなと展

7月～

牧水・短歌甲子園を巣立っていった卒業生たち。卒業してもなお牧水・短歌甲子園にかかわり続けているOBOG「みなと」。大学生・社会人となった今も歌を詠み続け一年に一度日向の「みなと」に戻ってくる。その彼らの短歌を展示。8/17(土)・18(日)は、第14回牧水・短歌甲子園会場にて展示。

牧水母校作品展

令和7年
2月～

～短歌がつなぐ昔と今～牧水の母校である坪谷小学校児童、延岡高等学校生徒、早稲田大学短歌会学生が詠んだ短歌と牧水の学生時代の短歌を展示・紹介。

状況により内容が変更となる場合がございます。